



一般財団法人 橋梁調査会
Japan Bridge Engineering Center

信頼と実績で
橋梁をサポートする



ごあいさつ



一般財団法人 橋梁調査会
理事長 石原 康弘

一般財団法人橋梁調査会は、橋梁に関する技術、経済、環境その他の問題についての調査研究、知識の普及を行い、橋梁事業の円滑な発展を図ることによって、国民経済の発展と国民生活の向上に寄与することを目的とした法人です。

我が国は、現在、戦後の復興、高度経済成長期に造られた橋梁をはじめ多くのインフラ施設において、建設後 50 年以上経過する割合が加速度的に高くなっています。これらを適切に維持管理する（定期的な点検と必要な修繕・交換や更新を行う）ことで、施設の状態を長く良好な状態に保つことは、我が国の持続的な経済活動を支えるとともに、安全・安心の社会を築き上げるために、必要不可欠となっています。

このような背景から、平成 16 年 3 月に国土交通省より発出された「橋梁定期点検要領（案）」に基づいて、5 年周期で行われる定期点検が国が管理する橋梁に対して開始され、その後、道路法並びに関係法令の改正により、全ての橋梁について義務化されました。

当調査会では橋梁等の道路構造物のメンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の円滑な実施ができるように橋梁診断業務を核とした事業を実施することにより、道路管理者へのサポートを行い、橋梁を利用される皆様の安全・安心を得られるよう務めるとともに、全国の橋梁を管理する技術者等への支援を行えるよう組織の質の向上に務めて参ります。

また、人材育成においては、国土交通省の登録資格（公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に関する技術者資格）である「道路橋点検士制度」（平成 27 年登録）を適切に運営し、必要な技術者の確保と点検技術の向上に務めて参ります。

さらに、現状の少子高齢化や技術者不足に対応すべく、長年実施している橋梁診断業務の技術と経験の蓄積を発揮した診断 AI の開発研究、国土交通省より新技術の導入促進機関として指定されている「橋梁点検支援技術」の評価・普及を進めて参ります。

また、業務効率化や省力化を背景とし、国土交通省より管理運営機関として指定されている「全国道路施設点検データベース（道路橋）」の管理運営団体として、橋梁定期点検結果を中心とした点検結果の蓄積を効率よく効果的に実施して参ります。

橋梁調査会は、今後、更に深刻化する橋梁の老朽化に対して、施設管理者が適時適切な点検・診断を行うことにより、施設を良好な状態で管理できるよう、橋梁保全に関する「総合技術センター」としての役割を果たすとともに、インフラが直面する DX・CX 等に関する技術開発や新技術の活用、世界をリードしてきた橋梁技術を継承・発展に務めて参りたいと考えておりますので、多くの関係する皆様のご支援とご協力をお願ひいたします。



事業の概要

1 橋梁診断業務

橋梁調査会の核となる事業である橋梁診断業務は、平成16年度より開始し、現在は、「橋梁定期点検要領」(国土交通省道路局 国道・技術課)に基づき、現地での状態の把握を行った上で、性能に関する技術的な評価、措置の必要性の検討を実施しています。

地方整備局ごとに配置された支部の橋梁診断員は、自ら現地にて診断に必要な情報が得られるよう状態の把握を行い、部材群(システム)の耐荷性能の推定(見立て)や次回定期点検までに必要な措置の検討などを行い、道路管理者が健全性の診断の区分の決定を行うために必要となる情報の記録を行っています。

公正・中立の立場で橋梁診断を行うとともに、詳細・追跡調査、補修補強計画作成支援、橋梁管理カルテ等のデータ整備支援を行っています。



業務表彰

業務名: R5・R6関東MC管内橋梁診断他業務 関東地方整備局長表彰
業務名: 令和5年度 中部地整管内(愛知・三重地区)橋梁溝橋診断業務 中部地方整備局長表彰
業務名: 令和5年度中国管内東部橋梁外診断業務 中国地方整備局長表彰 他

2 橋梁の維持管理・補修等に関する検討業務

点検-診断-措置-記録といったメンテナンスサイクルの構築に係る業務は、診断の他にも橋梁の計画、設計、施工、管理に渡る様々な実績を生かして、高度・特殊な技術を要する橋梁の補修・補強、及び橋梁を合理的に維持管理できるような措置に関する業務も実施しています。

受託実績

道路橋の維持管理に関する調査検討業務(九州地方整備局)
令和6年度中国管内橋梁メンテナンスデータ整理検討業務(中国地方整備局)

3 橋梁関連技術支援業務

(1) 総合評価方式等の発注方式における発注者支援業務

総合評価方式等の発注方式において、公正・中立の立場で発注者に対し技術的支援を行います。

受託実績

総合評価方式における発注者支援(四国地方整備局)

(2) 自治体支援業務

地方自治体の抱える橋梁のメンテナンスをはじめとした様々な課題に対し、解決のための支援を行います。

- ・道路橋点検・診断結果の助言
- ・現地調査・現地研修での助言
- ・措置が必要な道路橋に対する対策方針に関する助言

受託実績

島根県、京都府

(3) 講師派遣

国土交通省、地方自治体等の技術者を対象とした橋梁点検講習会等に講師を派遣します。

実績

技術事務所で実施する研修支援

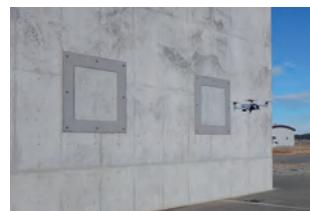
4 道路における新技術導入促進機関

国土交通省道路局では優れた有効な技術は活用するという方針の下、新技術の開発・導入を促進しており、毎年度の取組を新技術導入促進計画として公表しています。導入促進機関とは、新技術の導入を促進するために、国土交通省道路局と連携して新技術の活用に必要な技術基準類の検討や技術の実証を行うための第三者機関に相当します。橋梁調査会は、下記2テーマで選定されています。（R7年度時点）

（1）橋梁の点検支援技術

橋梁の点検支援技術に求められる要求性能（リクワイヤメント）を検討し、技術の公募を行っています。
応募技術に対し、各種試験を行って性能を確認し、点検支援技術性能能力タログの作成支援を行っています。

性能能力タログ掲載数（橋梁）R7.4	
画像計測技術	81技術
非破壊検査技術	47技術
計測・モニタリング技術	73技術
合計	201技術



点検支援技術の例

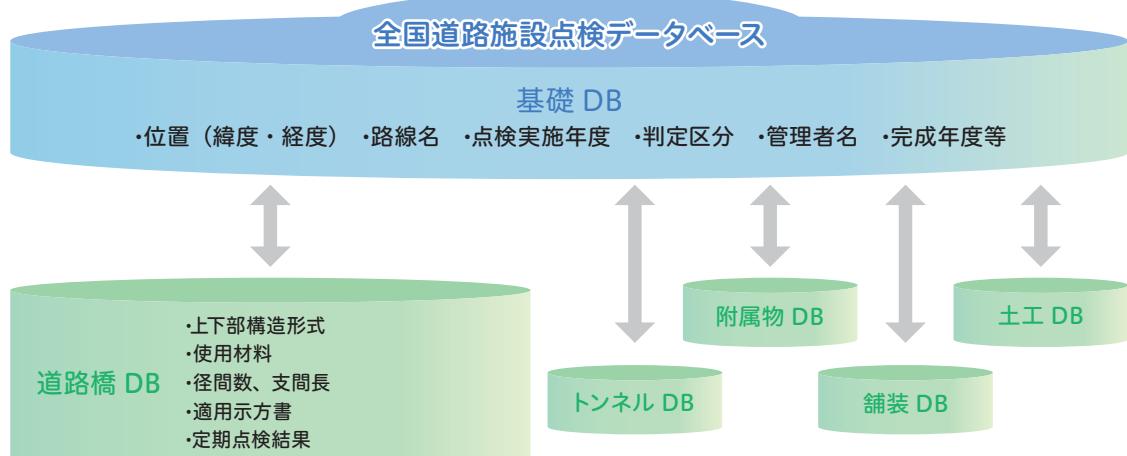
お問い合わせ 企画部 点検支援技術担当窓口 TEL: 03-5940-7794 E-mail: br-koubo@jbec.or.jp

（2）災害時におけるモニタリング技術

災害発生時（豪雨・出水、地震など）に車両が通行できるか否かを把握する「災害時のモニタリング技術」に関して、これらの技術導入を促進するためのガイドライン（案）の作成を行います。

5 全国道路施設点検データベース（道路橋）の管理運営

橋梁調査会は、国土交通省道路局で構築を進めているデジタル道路地図等を基盤とした各種データを紐付けるデータプラットフォーム（xROAD）の一環として位置づけられている、「全国道路施設点検データベース（道路橋）」の管理運営を行っています。データの閲覧・取得により民間企業等による技術開発の促進、これによる維持管理の更なる効率化等を目指して整備を進めています。あわせて点検データを「全国道路施設点検データベース」に登録できる道路管理者向けのサービスも行っています。



橋梁調査会では、道路橋DBの存在やAPI等を周知させるための手段として、利活用促進のためのユーザ会議の開催や活用事例の収集・公表等を積極的に取り組んでいく予定です。

「全国道路施設点検データベース」のうち、
無償公開しているデータについてはこちら



お問い合わせ

企画部 橋梁データ管理室

TEL: 03-6902-9090 E-mail: bridge_db_desk@jbec.or.jp

6 道路橋を点検する技術者の育成

(1) 道路橋点検士制度

道路橋点検士技術研修会を修了された方を対象に、国土交通省の民間登録資格（公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に関する技術者資格）である「道路橋点検士」及び「道路橋点検士補」に登録する制度です。登録者数は、累計で道路橋点検士が9,380名、道路橋点検士補が1,449名です。（令和7年3月現在）

お問合せ 企画部技術研修室 道路橋点検士事務局 TEL: 03-5940-4800 E-mail: hashitenken@jbec.or.jp

(2) 道路橋点検士技術研修会

「橋梁定期点検要領（国土交通省道路局国道・技術課）」の習得を目的とした「道路橋点検士技術研修会」を定期的に開催しています。

研修会では座学と現地実習を行っており、より実践に近い内容となっています。

これまでの研修会（平成6年度～令和6年度）において、累計で約16,800名の方が修了されています。



お問合せ 企画部技術研修室 研修担当 TEL: 03-5940-7746
E-mail: kensyu@jbec.or.jp

7 橋梁技術の開発・収集・普及

(1) 橋梁研究開発助成

橋梁技術に関する研究開発助成を大学、高等専門学校及びこれらに付属する機関等の研究者または橋梁調査会の賛助会員の企業に属する技術者に対して実施しています。

(2) 海外調査・国際貢献

橋梁に関する国際会議等に参加し、情報発信すると共に最新情報の収集を行っています。

主な実績	PIARC (世界道路会議) IABSE (国際構造工学会) fib (国際コンクリート連合会) IABMAS (橋梁の管理と安全に関する国際協会) JICA研修講師
------	---



(3) 出版

道路橋の補修・補強計算例II (H26.11)

スカートサクション基礎 設計施工マニュアル (H17.6)

(4) 講演会等の開催

◆橋梁シンポジウム

◆賛助会員対象特別講演会

◆橋梁メンテナンスセミナー（賛助会員限定）

所在地及び連絡先

本部（総務部、企画部、調査部）	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-1-29 JRE 仙台本町ホンマビル10階	022-221-5301
総務部 03-5940-7788（代表）	〒330-0844 さいたま市大宮区下町1-42-2 TS-5BLDG.5階	048-657-6085
企画部 03-5940-7794	〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルII 8階	025-281-3813
調査部 03-5940-7791	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-9-29 ダイセンビル6階	052-212-6811
〒112-0013 東京都文京区音羽2-10-2 Mail:info@jbec.or.jp HP:https://www.jbec.or.jp	〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル12階	06-6944-8551
	〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10 セントラルビル9階	082-511-2203
	〒760-0026 高松市磨屋町3-1 合田不動産磨屋町ビル6階	087-811-6866
	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-9-1 東福第2ビル2階	092-473-0628

東北支部	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-1-29 JRE 仙台本町ホンマビル10階	022-221-5301
関東支部	〒330-0844 さいたま市大宮区下町1-42-2 TS-5BLDG.5階	048-657-6085
北陸支部	〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルII 8階	025-281-3813
中部支部	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-9-29 ダイセンビル6階	052-212-6811
近畿支部	〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル12階	06-6944-8551
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10 セントラルビル9階	082-511-2203
四国支部	〒760-0026 高松市磨屋町3-1 合田不動産磨屋町ビル6階	087-811-6866
九州支部	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-9-1 東福第2ビル2階	092-473-0628

橋梁調査会の概要

(1) 事業の概要

当調査会は、上記の目的を達成するために以下の事業を行います。

1. 橋梁に関する計画、設計、施工法等の調査・研究・開発
2. 橋梁に関する経済、環境等の調査・研究・開発
3. 橋梁の性能評価、審査、検査に関する調査・研究・開発
4. 橋梁の保全に関する調査・研究・開発
5. 橋梁に関する研修会、講習会等の実施、技術の指導その他の人材育成
6. 橋梁に関する情報・資料の収集・管理及び提供
7. 橋梁に関する海外事情の調査及び国際協力
8. アセットマネジメントに関する調査及び研究
9. 前各号に関する事業の受託
10. 橋梁技術に関する研究開発等への助成
11. 道路橋点検等に関する技術研修、試験実施及び資格証明
12. その他当調査会の目的を達成するために必要な事業

(2) 有資格者等（技術者数 131 名） 令和 8 年 1 月 1 日現在

● 工学博士	7 名
● 技術士	80 名
● RCCM	30 名
● 道路橋点検士	97 名
● 米国連邦道路庁 (FHWA) 公認 橋梁安全点検研修会修了者	6 名

(3) 組織図

